



火の安心を、つくろう。
Wishing for Your Safety

アルファフォーム310X

アルファフォーム310X

【水成膜泡消火薬剤・耐寒用3%型】

Alpha Foam 310X



「耐火性
耐油性
UP!」



【アルファフォーム310X】は、国際的に規制が進んでいる、有機フッ素化合物（PFOS類）※を含有しておりません。PFOS（ペルフルオロオクタンスルホン酸）含有製品の製造・使用は2009年10月30日公布の化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）施行令により、2010年4月から規制されます。当社の水成膜泡消火薬剤は、PFOS規制に対応した泡消火薬剤です。
（※）PFOSとは【ペルフルオロオクタンスルホン酸及びその塩】を、PFOS類似化合物とは【ペルフルオロオクチルスルホン基（ $C_8F_{17}SO_2-$ ）を分子中に有する全ての化学物質】をいうものとしています。

※このカタログは、再生紙を使用しています。※この商品写真は見本品です。

ヤマトプロデック株式会社

Alpha Foam 310X Specifications

アルファフォーム 310X

〔水成膜泡消火薬剤・耐寒用3%型〕

この消火薬剤は消防法第21条の2第2項の規定（昭和23年法律第186号）に基づく、「泡消火薬剤の技術上の規格を定める省令」（昭和50年12月9日 自治省令第26号・国家検定）に適合した、水成膜泡消火薬剤〔型式番号 泡第30～2号〕です。
本文はこの仕様に関するものです。

■成分

- 1.アルファフォーム310Xは、フッ素系界面活性剤を主成分とする泡消火薬剤です。
- 2.泡安定剤、凝固点降下剤などを添加しています。
- 3.PFOS（ペルフルオロオクタン-1-スルホン酸またはその塩）は含有していません。

■使用方法

- 1.淡水・海水または硬水97容量%に本薬剤3容量%を溶解して使用します。
- 2.石油類火災の消火に使用します。
- 3.固定式（フォームチャンバー、泡ノズル等）消火方法に加え、石油類による汚染が少ないのでタンク底部からの泡注入消火法（SSI方式）にも使用できます。また、粉末消火薬剤との併用も可能です。

■性状

- 1.黄色透明の均質な液体です。
- 2.化学的に安定ですので、貯蔵中の薬剤変化はほとんどありません。
- 3.一度消火すると油面上に薄い水成膜を形成し、燃料蒸気を抑制して長時間再着火を防止します。
- 4.湿潤性に優れているため、木材・紙・ゴムなどの一般火災にも消火力を発揮します。
- 5.泡消火薬剤の原液及び生成した泡は、毒性または損傷性がほとんどありません。
- 6.鋼・黄銅・アルミニウムに対し著しい腐食性はありません。温度38℃の泡消火薬剤の中に、金属試験片を21日間放置した場合の質量損失は次の通りです。

金属の種類	国家検定規格	実測値
鋼 (SPCC)	3mg/20cm ² /day以下	0.2mg/20cm ² /day
黄銅 (C2801P)		0.0mg/20cm ² /day
アルミニウム (A5052P)		0.1mg/20cm ² /day

- 7.アルファフォーム310Xは、温度65℃に216時間保った後に室温に戻し、さらに温度-18℃に24時間保った後に室温に戻す強制変質試験を行っても、試験前の製品とほぼ同等の性能を有します。

■使用温度範囲

「-10℃～+30℃」の温度範囲で使用できます。流動点以下に温度が下がり泡消火薬剤が凍結しても、液温が使用温度範囲内に戻れば有効に使用できます。

■物理的性状

試験項目		国家検定規格	実測値
比 重 (20℃)		1.00～1.15	1.055
粘 度		200cSt以下	4.2cSt (20℃)
流 動 点		-12.5℃以下	-15.0℃
p H (20℃)		6.0～8.5	7.8
拡散係数	淡 水	3.5以上	4.0
	合 成 海 水		4.5
沈 澱 量	原 液	0.1vol%以下	痕跡以下
	淡・海水希釈液	0.05vol%以下	痕跡以下
引 火 点		60℃以上	なし

■性能

試験基準		国家検定規格	実 測 値	
試験条件	使 用 水	——	淡 水	合成海水
	燃 料 種 類	——	n-ヘプタン	
	燃 料 量	——	200L	
	発 泡 ノ ズ ル	——	国検水成膜泡用標準発泡ノズル	
	放 射 量	——	10L/min	
	燃 焼 火 皿	——	B-20 (4m ²)	
発泡性能	発 泡 倍 率	5倍以上	5.7倍	5.5倍
	25%還元時間	1分以上	3分43秒	3分20秒
	水 成 膜 試 験	良	良	良
消火性能	消 火 時 間	5分以内	1分40秒	1分40秒
	密 封 性 試 験	良	良	良
	耐 火 性 試 験	900cm ² 以下	20cm ²	20cm ²

■容器（標準容器として次の3種類があります。）

1000L容器：プラスチック製内容器付複合IBC容器

200L容器：JIS Z1601に適合する鋼製液体用ドラム缶

20L容器：JIS Z1706に適合するポリエチレン偏平缶

■取扱上の注意

●使用上の注意

- 1.「石油類火災用」に使用してください。
- 2.使用時に他の薬剤と混用しないでください。
- 3.使用時には淡水・海水または硬水で3%希釈してご使用ください。

●貯蔵上の注意

- 1.貯蔵時にブレミックス（淡水・海水・硬水と混合）しないでください。
- 2.使用温度範囲を保って貯蔵してください。
- 3.貯蔵中に、みだりに開缶しないでください。

【注意】本仕様書掲載の数値は、保証値・規格値ではありません。

●あらゆる防災設備・機器のご用命は下記へ……………

ヤマトプロテック株式会社

本 社 東京都港区白金台5-17-2

ホームページ <https://www.yamatoprotec.co.jp>



お問い合わせは
こちら

※このカタログは、再生紙を使用しています。